

5 総合計画と各種事業

総合計画とは行政運営の最上位計画であり、市の将来像とその実現のための目標などが示された、まちづくりの指針となるものです。目標を達成するための7つの政策に沿って、令和8年度に実施する事業の一部をご紹介します。

〔 将来像 〕	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて	
〔 政策 〕	政策1 健康福祉	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます P7～10
	政策2 教育文化	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます P10～13
	政策3 生活環境	自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます P13～15
	政策4 産業振興	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります P15～19
	政策5 建設交通	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます P19～22
	政策6 市民協働	市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます P22～24
	政策7 行政経営	横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます P25

政策1
健康
福祉

みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます〔183億8,739万円〕



1-1 こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進 事業費 71億3,545万円

財 源	国庫支出金	32億 439万円	事 業 費	子どものための教育・保育給付事業	34億 2,512万円
	県支出金	14億 7,023万円		児童手当給付費	12億 3,965万円
	市 債	4,550万円		福祉医療事業	7億 5,714万円
	その他特定財源	7,445万円		放課後児童健全育成事業	6億 2,813万円
	一般財源	23億 4,088万円		その他	10億 8,541万円

主 な 事 業

福祉医療給付事業（7億3,810万円） 国保年金課

乳幼児、小中高生などの医療費の自己負担分を助成します。

家庭児童相談事業（2,160万円） 子育て支援課

家庭における児童の福祉向上を図るため、横手市子ども家庭センターを設置し、児童虐待の相談や緊急事案に対応する業務を行います。

保育士等確保対策事業（2,400万円） 子育て支援課

小学校入学前の乳幼児の保育・教育環境の改善と、施設・職員の負担軽減を目的とし、国が定める基準を超えて保育士等を配置する保育所などの就学前教育・保育施設に対し、市が人件費の一部を助成する横手市独自の事業です。

産前・産後ファミリー応援事業（2,132万円） 子育て支援課

妊娠中及び出産から子が2歳に到達する日までに家事代行を利用した費用を助成します。



病児保育事業（8,068万円） 子育て支援課

保護者の仕事などを理由に、体調不良の子どもを自宅で保育することが困難となった際に、病院・保育所などにおいて保護者に代わって保育する事業です。市が事業を委託した病院または保育所で実施する病児保育、病後児保育のほか、既に保育所などを利用しているお子さんが体調不良となった際に、保護者のお迎えまでの間に看護師などが対応する『体調不良時対応型』事業も含まれます。

子育て家庭養育支援事業（447万円） 子育て支援課

病気などの一時的な理由で日常の家事・育児などができないひとり親家庭などや、家事・育児などに対して不安や負担を抱える家庭に対し、ヘルパー等派遣サービス費用を助成します。

ひとり親家庭等生活支援事業（850万円） 子育て支援課

ひとり親家庭などが直面する育児や就労、健康管理などの諸問題について、相談支援を通じて解決や緩和を図ることを目的に相談支援事業を実施します。

子どものための教育・保育給付事業（34億2,512万円） 子育て支援課

保育所、認定こども園などに対し、子ども1人あたりの教育・保育に要する費用を支払います。支払う金額（公定価格）は、国が定めたルールに合わせ、施設ごとの利用子ども数や教育・保育への取り組み状況などを基に計算されます。

乳児等のための支援給付事業(こども誰でも通園制度)（300万円） 子育て支援課

令和8年度から実施される新事業です。親の就労に関わらず、生後6か月から3歳未満の子どもを月10時間程度、保育所などで預けられる制度です。育児の孤立を防ぎ、子どもの成長を応援します。

すこやか子育て支援事業（1億160万円） 子育て支援課

子育て家庭を経済的に支援するため、0～2歳児の保育料と3～5歳児の副食費にかかる費用を助成します。

不妊治療費助成事業（1,070万円） 健康推進課

一般不妊治療、不育症治療を受けた方には、年度内に支払った自己負担額上限30万円を助成します。特定不妊治療を受けた方には、秋田県の特定不妊治療費助成後の自己負担額1回につき上限30万円を助成します。横手市及び横手市に隣接する市町村以外にある医療機関において治療した場合は、交通費として旅費規定に準じて算出した交通費の額（実費を上限とする）の8割を助成します。

妊婦のための支援給付交付金事業（4,223万円） 健康推進課

妊娠期から切れ目ない支援を行う妊婦等包括相談支援と、妊婦に対する経済的支援のための給付金の交付を一体として実施します。

1-2 健康づくりと地域医療の充実

事業費 40億6,417万円

財源	金額	事業費	金額
国庫支出金	9,031万円	後期高齢者医療制度費	16億 8,023万円
県支出金	5億 8,991万円	病院事業繰出金	8億 8,980万円
その他特定財源	1億 8,011万円	国民健康保険特別会計繰出金	6億 8,457万円
一般財源	32億 384万円	予防接種事業	2億 5,743万円
		その他	5億 5,214万円

主 な 事 業

保健衛生事業（7,570万円） 健康推進課

がん患者の医療用補正具購入費の一部を助成するほか、18歳以上で身体障害者手帳の交付対象にならない軽度・中等程度難聴者の補聴器購入費の一部を助成します。

予防接種事業（2億5,743万円） 健康推進課

予防接種法に基づくA類とB類の定期予防接種を行い、感染や発病、重症化や感染症蔓延の予防を図ります。

A類 ・接種の努力義務あり ・全額無料	B類 ・接種の努力義務なし ・一部自己負担
五種混合 HPV(女性) MR 小児用肺炎球菌 日本脳炎 など	高齢者インフルエンザ 帯状疱疹 新型コロナ ウイルス など

任意予防接種助成事業（5,986万円） 健康推進課

市が独自で定めた年齢で、かつ接種を希望する方へ予防接種費用を助成し、感染・発病・重症化・感染症蔓延の予防を図ります。対象となるものに、おたふくかぜや任意インフルエンザ、男子HPVなどがあります。

健康の駅推進事業（2,905万円） 健康推進課

広く開放的な健康の駅よこてトレーニングセンターで、みなさんの健康づくりをサポートします。初めての方も安心してご利用いただけます。

1-3 高齢者福祉の向上による生きがいづくりの推進 事業費 27億9,677万円

財源	国庫支出金	8,598万円	事業費	介護保険特別会計繰出金	19億 4,536万円
	県支出金	3,137万円		市営介護サービス事業特別会計繰出金	4億 6,015万円
	市債	400万円		高齢者福祉施設入所措置事業	2億 5,464万円
	その他特定財源	4,698万円		日常生活支援事業	4,752万円
	一般財源	26億 2,844万円		その他	8,910万円

主 な 事 業

交通助成券交付事業（923万円） まるごと福祉課

自家用車を持たない75歳以上の高齢者に、市内を走る交通機関で使用できる交通助成券を交付することで、閉じこもりを予防します。

老人クラブ支援事業（550万円） まるごと福祉課

老後の生活を明るく豊かにするため、老人クラブが実施する社会奉仕活動、健康増進活動、教養向上活動、若手高齢者組織化活動に対して補助金を交付します。

1-4 安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実 事業費 28億7,021万円

財源	国庫支出金	14億 1,335万円	事業費	自立支援給付費	26億 1,091万円
	県支出金	6億 9,380万円		自立支援医療費給付事業	7,908万円
	その他特定財源	11万円		地域生活支援事業	7,742万円
	一般財源	7億 6,295万円		その他	1億 280万円

主 な 事 業

地域生活支援事業（7,742万円） 社会福祉課

障がいのある方が自立した日常生活や社会参加ができるよう、利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や障がいへの理解啓発、ボランティア活動の支援を行います。

自立支援医療費給付事業（7,908万円） 社会福祉課

身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の方や、身体に障がいを有する18歳未満の児童で、手術などの治療を受けることにより身体の障がいが除去・軽減され、日常生活が容易にできるよう医療費の一部を公費により負担します。

1-5 生活に困難を抱える人への自立支援の推進

事業費 12億8,143万円

財源	国庫支出金	8億 6,438万円	事業費	一般扶助費	10億 2,650万円
	県支出金	705万円		公営住宅管理費	9,477万円
	その他特定財源	9,507万円		公営住宅整備費	4,707万円
	一般財源	3億 1,493万円		その他	1億 1,309万円

主な事業

生活困窮者自立促進支援事業 (3,383万円) 社会福祉課

生活困窮者の社会的・経済的な自立に向けて、就労支援や住居確保給付金支給など様々なサービスを包括的に提供します。

公営住宅整備費(建設) (4,707万円) 建築住宅課

市営住宅などの共用部手すり設置工事および共用部照明のLED化工事を行います。

1-6 支え合いによる地域共生社会の実現

事業費 2億3,936万円

財源	国庫支出金	3,357万円	事業費	地域福祉推進事業	7,700万円
	県支出金	3,230万円		重層的支援体制整備事業	5,370万円
	その他特定財源	748万円		社会福祉総務費	3,596万円
	一般財源	1億 6,601万円		その他	7,270万円

主な事業

参加支援・アウトリーチ・多機関協働事業 (2,300万円) まるごと福祉課

複合的な福祉の困りごとにワンストップで対応するほか、相談できずに孤立している世帯への訪問支援などを行う重層的な支援体制を強化します。

ひきこもり地域支援対策事業 (2,436万円) まるごと福祉課

社会的に孤立している要援護者の社会参加を支援するため、ひきこもり地域支援センターを運営します。

横手市社会福祉協議会が進める地域福祉活動

地域福祉活動推進事業、ボランティア活動推進事業、生活相談事業、福祉団体支援事業、福祉教育活動推進事業、福祉サービス利用援助事業



2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

事業費 3億3,379万円

財源	国庫支出金	580万円	事業費	学校生活サポート事業	1億 2,790万円
	県支出金	197万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,849万円
	その他特定財源	2,592万円		学校保健事業	3,938万円
	一般財源	3億 10万円		その他	1億 802万円

主な事業

教育相談・教育支援センター事業 (1,696万円) 教育指導課

教育支援センターとして、旧横手図書館内に『東かがやき教室』、醍醐地区交流センター内に『南かがやき教室』、大雄農業団地センター内に『西かがやき教室』を設置し、児童生徒や保護者の不安や心配事を聞き取り、学校及び関係諸機関と連携しながら、個々の状況に応じた関わりや働きかけをします。

学校生活サポート事業（1億2,791万円） **教育指導課**

特別支援教育支援員、日本語指導支援員、非常勤看護師、複式学級指導支援員の配置により、対象児童生徒への支援を行います。

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備・充実 **事業費 21億8,171万円**

財源	国庫支出金	1億 2,145万円	事業費	学校給食事業	5億 430万円
	県支出金	50万円		小学校管理費	3億 7,793万円
	市債	3億 70万円		学校給食調理等業務委託費	2億 8,803万円
	その他特定財源	1億 1,908万円		小中学校環境整備事業	2億 8,145万円
	一般財源	16億 3,998万円		その他	7億 3,000万円

主 な 事 業

小中学校獣害防止対策事業（699万円） **教育総務課**

クマ対策として、学校敷地内の栗や柿などの誘引樹木や、クマが身を潜められるような雑木林の伐採に取り組み、安全な教育環境の確保に努めます。

学校給食事業（5億430万円） **学校給食課**

横手市立小中学校の児童生徒の学校給食費を完全無償化します。また、食物アレルギーなどの理由により弁当を持参している児童生徒や、県立もしくは市外の小中学校に就学している児童生徒へ給食費相当額の一部または全部を補助します。

ピックアップ
PICK UP

**市立小中学校の児童生徒の
学校給食費を無償化します**

令和8年4月から全国の公立小学校を対象に学校給食費の抜本的負担軽減策として、食材費に対して国が示す基準額により支援が行なわれることになりました。横手市では、物価高騰に直面する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図るため、小学校のみならず中学校の給食費も全額を市で負担し、学校給食費を完全に無償とします。



児童生徒一人当たりの負担軽減額

児童	69,190円/年
生徒	77,515円/年



無償化のための費用
3億3,376万円

2-3 スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化 事業費 5億1,891万円

財源	市債	8,600万円	事業費	屋内体育施設費	2億 6,136万円
	その他特定財源	1,665万円		屋外体育施設費	1億 3,336万円
	一般財源	4億 1,626万円		体育施設総務費	9,098万円
				その他	3,321万円

主 な 事 業

競技スポーツパワーアップ事業 (1,439万円) スポーツ振興課

横手わか杉カップをはじめとする大会開催の支援や、スポーツ教室・指導者向けの講習会などの開催により、競技スポーツの強化を図ります。また、アスリートへの支援として、全国大会などに出場する個人や団体への補助を行います。

横手市立体育館管理費(債務負担) (1億2,035万円) スポーツ振興課

I R I S Oアリーナ横手（横手市立体育館）の管理運営に必要な指定管理料です。指定期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間です。

十文字西スポーツセンター管理費 (200万円)

十文字地域課

令和8年1月にリニューアルオープンした市内で唯一となる人工芝が敷かれた屋内運動場で、四方の壁と天井の全面に防球ネットが張られています。足腰への負担軽減が期待できるなど、幅広い年齢層の方が安全・安心かつ天候を気にせずにスポーツを楽しむことができます。



▲十文字西スポーツセンター

天下森スキー場整備事業(建設) (2,243万円)

増田地域課

横手市唯一のスキー場である天下森スキー場の整備を行い、利用者の利便性向上と冬期間の運動促進を図ります。令和8年度は、高圧受電設備改修及びゲレンデ内埋設配線等更新工事などを実施します。

2-4 心を豊かにする生涯学習の推進

事業費 4億430万円

財源	県支出金	230万円	事業費	図書館費	1億 5,230万円
	その他特定財源	1,062万円		増田まんが美術館事業	1億 376万円
	一般財源	3億 9,138万円		生涯学習館費	7,244万円
				その他	7,580万円

主 な 事 業

生涯学習館費 (7,244万円) 生涯学習課

生涯学習館Ao-na（あおーな）において、全国的に注目されている作家のトークイベントや、学びのきっかけづくりを目的としたワークショップを定期的に行い、多様な学びの提供を推進します。また、施設の適切な維持管理を行い、快適で安心な施設運営に取り組みます。

横手図書館費（8,733万円） **横手図書館**

たくさんの方にご利用いただくため、Ao-na（あおーな）内にある横手図書館の図書を充実させ、さまざまなイベントと連携した企画展示などを行います。

増田まんが美術館事業（1億376万円） **横手の未来ともにつくる課**

横手市増田まんが美術館の適切な管理運営を行います。また、マンガの魅力を活用した豊かな学びの機会を提供します。

2-5 横手の風土に育まれた伝統文化の継承

事業費 1億335万円

財源	国庫支出金	1,153万円	事業費	資料館費	3,064万円
	県支出金	1,320万円		伝統文化総務費	2,580万円
	市債	450万円		埋蔵文化財発掘調査事業	2,201万円
	その他特定財源	53万円		重要伝統的建造物群保存事業	1,647万円
	一般財源	7,359万円		その他	843万円

主 な 事 業

重要伝統的建造物群保存事業（1,647万円）

増田地域課

保存地区において、伝統的建造物などの修理・修景事業を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援のほか、町並み継承のための修理修景相談会や修理技術者講習会などを実施します。



▲横手市増田伝統的建造物群保存地区（増田の町並み）

政策3
生活環境

自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

〔36億1,784万円〕



3-1 安全で暮らしやすい環境の整備

事業費 1億769万円

財源	国庫支出金	2,112万円	事業費	空家等対策事業	5,185万円
	県支出金	22万円		交通安全対策事業	2,021万円
	その他特定財源	28万円		交通安全施設整備事業	1,842万円
	一般財源	8,607万円		その他	1,721万円

主 な 事 業

空家等対策事業（5,185万円） **生活環境課**

空家等の増加予防・適正管理・利活用を推進するための支援を実施します。空き家バンク活用推進事業では対象要件を緩和し、片付けや改修などの支援を強化します。片付けなどは30万円、改修などは一般世帯100万円、子育て世帯等200万円、外構等30万円を上限に助成します。また、空家等管理活用支援法人連携事業を新設し、市が指定する民間事業者が空家等の所有者に対し、管理、売却、解体などの適切なアドバイスを切れ目なく提供するなど、空家問題の解決に向けた対策を拡充して実施します。